



静岡県文化プログラム スペシャルトーク



みんなの
ミュシヤ
ミュシヤからマンガへ——線の魔術

スペシャル対談

ふたりのミュシヤ

——1900年と1972年

編集者・評論家／展覧会オフィシャルサポーター

山田五郎 × 木下直之

静岡県立美術館館長

Goro Yamada × Naoyuki Kinoshita



2020年7月18日(土) 14時00分～15時30分
 会場 静岡県立美術館 講堂 静岡市駿河区谷田53-2
 参加料無料(ただし「みんなのミュシヤ」展
 観覧券もしくは半券が必要) 定員220名(応募多数の
 場合は抽選)

スペシャル対談 ふたりのミュシャ —— 1900年と1972年

静岡県立美術館で今夏開催される展覧会、「みんなのミュシャ」(会期：7月11日[土]～9月6日[日])。ヨーロッパ19世紀末のアル・ヌーヴォーの時代を華やかに彩った芸術家、アルフォンス・ミュシャ (1860-1939) の作品世界を中心としながらも、その作風に影響を受けた現代にいたるまでの様々なアーティストの作品を紹介する、これまでにないミュシャ展です。そして、静岡県文化プログラムがこのミュシャ展とコラボすることで、スペシャルな対談が実現します。

お出でいただくのは、展覧会オフィシャルサポーターであり編集者・評論家の山田五郎氏。お迎えするのは静岡県立美術館館長の木下直之。1900年と1972年というおのおのが選んだ年代を軸に、それぞれの「ミュシャ」について熱く語り合います。当代きってのユニークな才人たちが繰り広げる、めくるめく「ふたりのミュシャ」の世界。どうぞお聴き逃しなく!!

日時：7月18日(土) 14:00～15:30

会場：静岡県立美術館 講堂

参加料：無料(ただし「みんなのミュシャ」展観覧券もしくは半券が必要)

定員：220名(応募多数の場合は抽選)

申込締切：6月30日(火) 必着

申込方法：静岡県立美術館ウェブサイト申込フォームまたは往復はがきにて。応募は1人1回限り、2名様まで。

[往復はがき記載事項] ①氏名(参加人数分) ②郵便番号・住所 ③電話番号

返信面に宛先を記入の上、静岡県立美術館「みんなの対談受付係」まで。 ※抽選の如何にかかわらず結果は通知いたします。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、内容が変更となる可能性があります。



山田五郎 (やまだ・ごろう)

編集者・評論家

「みんなのミュシャ」展オフィシャルサポーター

1958年東京都生まれ。上智大学文学部在学中にオーストリア・ザルツブルク大学に1年間遊学し、西洋美術史を学ぶ。卒業後、(株)講談社に入社『Hot-Dog Press』編集長、総合編集局担当部長等を経てフリーに。現在は時計、西洋美術、街づくり、など幅広い分野で講演、執筆活動を続けている。著書に『百万人のお尻学』、『知識ゼロからの西洋絵画入門』、『ヘンタイ美術館』、『へんな西洋絵画』、『知識ゼロからの近代絵画入門』など。TV、ラジオ番組にもレギュラー出演多数。



木下直之 (きのした・なおゆき)

静岡県立美術館館長・神奈川大学特任教授

1954年浜松市生まれ。東京芸術大学大学院中退。兵庫県立近代美術館学芸員、東京大学総合研究博物館助教授、東京大学大学院教授を経て現職。19世紀日本の文化を研究。2015年春の紫綬褒章。著書に『美術という見世物』(サントリー学芸賞)、『ハリボテの街』、『写真画論』(重森弘清写真評論賞)、『世の途中から隠されていること』、『わたしの城下町』(芸術選奨文部科学大臣賞)、『戦争という見世物』、『銅像時代』、『股間若衆』、『近くても遠い場所』、『せいきの大問題』、『動物園巡礼』、『木下直之を全ぶ集めた』などがある。

司会：三谷理華(みに・りか) 静岡県立美術館学芸課長/「みんなのミュシャ」展担当



表面上部左：アルフォンス・ミュシャ《サロン・デ・サン ミュシャ展》(部分) 1897年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2020

表面上部右：一條成美《『明星』第7号(1900年10月)の挿絵》(〔部分〕復刻版〔臨川書店発行、1964年〕) 静岡県立美術館蔵

表面下部左：アルフォンス・ミュシャ《メデア》(部分) 1898年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2020

表面下部右：山岸涼子《黒のヘレネー》(〔部分〕「花とゆめ」1979年9月11号雇用イラスト/白泉社) 1979年 カラーインク・紙 ©山岸涼子

裏面上部：「アルフォンス・ミュシャ パリ、グランド・ショミエール通りのアトリエにて、異国の品々に囲まれたセルフポートレート」 ©Mucha Trust 2020

裏面下部：アルフォンス・ミュシャ《モナコ・モンテカルロ》1897年 カラーリトグラフ ミュシャ財団蔵 ©Mucha Trust 2020



会場：静岡県立美術館

主催：静岡県立美術館、ミュシャ財団、Daichi-TV

後援：チェコ共和国大使館、チェコセンター、チェコ政府観光局

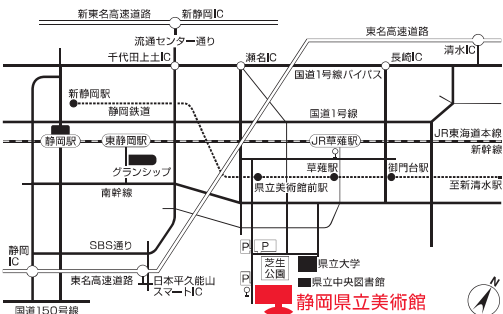
協賛：大成建設、光村印刷、損保ジャパン

静岡展特別協賛：セキスイハイム東海

協力：日本航空、日本通運 企画協力：NTVヨーロッパ

Czech Republic セキスイハイム東海

*詳しい情報は美術館ウェブサイト(<http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>)をご覧ください。



静岡県立美術館

Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2

ウェブサイト <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

お問合せ 総務課 Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767

学芸課 Tel. 054-263-5857

交通案内

- JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
- JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
- JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
- 静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
- 東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

静岡県文化プログラム

静岡県文化プログラム推進委員会は、オリンピック憲章で定められた「文化プログラム」を、文化・芸術振興や文化・芸術による地域・社会課題への対応を目指して、様々な団体等との協働により進めています。

